

# おいしい OEC

# ニュースレター

Vol.25

2016年1月発行



## 紙面のご案内

- [1面] ・JICA 草の根プロジェクトが採択されました！  
・株式会社 OEC 企画を設立しました！
- [2面] ・JICA 研修 2015-17 年度水保全コースを受託しました！  
・第1回おきなわエコツーリズムセミナーを開催しました！  
・第2回はエコガイド養成講座を実施しました！

- [3面] ・マングローブのつづやき ～その7～  
・JICA 研修熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営
- [4面] ・活動実績・活動予定・お知らせ

## JICA 草の根プロジェクトが採択されました！

トピック①



県の名前は主要な4つの島 (Wangi-Wangi, Kaledupa, Tomia, Binongko) の頭文字から付けられました。

JICA 草の根技術協カプロジェクトとして『南東スラウェシ州ワカトビ県における地域に根差した環境保全型観光開発の推進』が採択されました。2016年4月から3年間の実施に向けて、現在準備を進めているところです。ワカトビ県は、インドネシアのスラウェシ島南東部にある離島群です。県を囲む海はすべて

海洋国立公園に指定され、ユネスコの生物圏保護区にも登録されています。豊富な自然・文化資源を生かした観光開発に積極的で、最近、空港や道路が整備されてきています。対象7村に住んでいる人たちは、半漁半農の生活をし、昔の沖縄のように船を使った交易を行う人たちもいます。9月に行った現地調査では、村々の生活や住民組織の活動、インフラや環境保全の現状、観光開発施策とコミュニティ・ベースの観光の実態について聞き取りと視察を行いました。残念ながら海に潜る時間はありませんでしたが、ブトン王朝の名残を残す城塞跡、洞窟の湧水で遊ぶ子供たち、海産物をふんだんに使った伝統料理、地域の人々が取り組

む植林活動や民芸品づくりなど、現地の県職員の方の案内で様々な地域の宝を見ることができました。村人が中心となって自然・文化資源を活用した持続可能な観光事業に取り組むためのお手伝いをしながら、島の人たちとの末長い関係づくりができることを祈っています。



現地では英語のできる人はほとんどいません。通訳を交えての聞き取り調査でした。

## 株式会社 OEC 企画を設立しました！

トピック②

2015年6月、当クラブ(OEC)が100%出資して株式会社 OEC 企画を設立しました。「私たちのすぐそばにある自然と環境の素晴らしさを、楽しく学ぶことができるプログラムと教材を通して、日常の行動を振り返る“きっかけ”となるような体験を提供していきたい」という思いを胸に、当クラブが長年の活動で培ってきた経験やノウハウを活用し、

学校や地域、行政等と連携して行う「自然体験プログラム・スタディツアー」や、生きものをテーマにしたグッズやガイドブックなどの「教材開発・販売」を展開していきます。また、県外からの修学旅行や研修旅行などにも対応できるように「旅行業登録(第二種)」も行いました。身近な場所から新たな“学び”を提供する社会的企業としての役割を念頭

に置いて、県内外および世界に向け沖縄の魅力を発信していきます。



マングローブ、トントンミー、水鳥に出会える「街なかマングローブ探検」



石垣島 しらほサンゴ村にて水質調査実習の様子 — 2014 年度

去る 10 月 15 日に JICA 課題別研修『島嶼水環境の保全と管理』コースの受け入れ業務の委託について参加意思確認公募があり、平成 27、28、29 年度の当クラブ受託が決まりました。このコースは、3 年前に当クラブが提案して実現したのもで、当年度は第 1 弾として実

施した 3 回に引き続いて第 2 弾の 1 回目となります。過去に実施した同テーマの研修内容を改めて吟味し反省を踏まえた上で、近い将来、必要と思われる技術講習や実習を盛り込んでこの研修コースを実施していきます。今回の研修で特に重視している課目がいくつかあります。離島や小規模な集落における水の利用についての講義や、上水施設・下水処理施設についての講義・見学。そして信州大学の元教授で NPO 地域水道支援センター理事をされている中本信忠氏の EPS (Ecological Purification System) 講義と実習などです。国立保健医療科学院の島崎大氏による「水と衛生（排水と

健康被害）」の講義も実施します。当クラブは水辺の環境保全やその啓発活動を行うために設立した NPO/NGO 団体ですので、水の保全に関わる研修コースの実施は重要な活動の一つです。水を通じて国際貢献ができるようになりたいと考えています。



多良間島 役場内にて講義を受けている様子 — 2014 年度

## 第 1 回おきなわエコツーリズムセミナーを開催しました！

11 月 4 日に「第 1 回おきなわエコツーリズムセミナー」を、株式会社 OEC 企画（「うれしいトピック⑤」参照）と共同開催しました。今回が第 1 回目となるエコツーリズムについてのセミナーです。スタッフはもちろん、環境教育に携わる方、行政の方にも参加していただきました。国頭郡東村で活動されている「やんばる自然塾」副代表の島袋裕也氏、「NPO 法人日本エコツーリズム協会」事務局長の辻野啓一氏のお二方を講師としてお迎えし、現在に至るまでの経緯や現状、そして日本におけるエコツーリ

ズムの現状と課題、全国での成功事例などをご紹介いただきました。島袋氏が紹介された沖縄県でどのように事業展開を進めてきたかというお話は大変参考になりました。辻野氏の「エコツーリズムとはいうが“エコ”だけではいけない。観光と繋がり、地域にお金が回らなければ意味がない」という言葉も印象的でした。当クラブもエコツーリズムに携わる者として、様々な事例に学びながら沖縄という素晴らしい場所を大いに活用して事業を展開していきたいと思ひます。



講師：島袋裕也 氏

講師：辻野啓一 氏



講師の話に聞き入る参加者

## 第 2 回なはエコガイド養成講座を実施しました！

11 月 3 日～12 月 6 日に「第 2 回なはエコガイド養成講座」を、株式会社 OEC 企画と共同開催しました。なはエコガイドとは、沖縄の自然・環境についてより深く伝え、“学び”や“気づき”のきっかけとなる人材で、今回、新たに 12 名が誕生しました。ガイド経験者や、ガイド経験はないけれど自然や沖縄の歴史・文化を学びたいという方、台湾や韓国出身の方など熱い思いをもつ皆さんが講義と実習を全 16 回にわたって受講しました。

養成講座の達成目標は、①ラムサール条約登録湿地「漫湖」を解説できる、②沖縄の mangrove を解説できる、③沖縄のサンゴ礁を解説できる、④国場川の水環境の変化について解説できる、⑤沖縄の危険生物を解説できる、の計 5 項目です。専門家を招いた講義と現場での実習を重ね、全ての受講生が全過程を修了しました。昨年度に誕生した皆さんと併せてなはエコガイドは総勢 30 名となりました。今後のプログラムを共に作り上

げ、環境学習の発展に貢献していただきたいと思います。



真剣に講義を受ける受講生

マングローブを育てるのになくはならない、実に便利なプラスチック容器が、三つあります。それがペットボトルとコンテナ、そしてポリポットです。いずれも石油を原料とするプラスチック(合成樹脂)からできていて、ガラスや陶器のように割れる心配がなく、軽くて持ち運びが便利で錆びることもありません。ペットボトルは、コンビニやスー

パーで飲み物が入った多種多様な形や色をしたものを目にします。これらの容器から『アクアプランター』として、簡単な水耕栽培の装置が作れます。

ペットボトルを中ほどから上下二つにカッターで切り、切り口をはさみで整え、蓋に穴をあけ逆さに重ねれば出来上がりです。上(蓋)部に砂か土を7部目まで入れ、下(底)部に水を入れれば、蓋の穴から水が吸い上げられ、湿地や干潟に似た環境ができあがるのです(図1)。

プラスチックのコンテナは、『プラ舟』などいろんな商品名で、複数の規格やサ

イズ・容積で市販されています。これもマングローブやその後背地に生えるサガリバナなど、水辺植物の栽培になくはならない容器です。『陸の苗床』として水道水や雨水を溜め、海岸の浅瀬では『海の苗床』として潮の干満で海水を溜め、ポットに詰めた土砂の逸失を防ぐ容器として、湿地や干潟と同様の水辺環境をつくる事が出来ます(写真1、2)。

ペットボトルとコンテナを用いた苗木や教材づくりは、長年の活動経験に基づいたもので、標準的な手法として県内をはじめ国の内外で、多くの人たちに広めて行きたいと考えています。

(会長：下地邦輝)

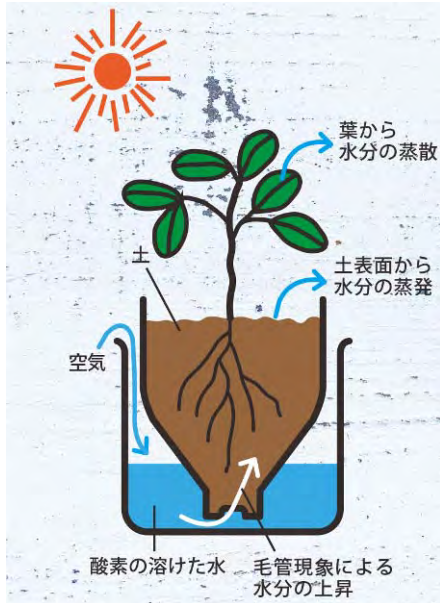


図1. アクアプランターの仕組み



写真1. 陸の苗床



写真2. 海の苗床

JICA 研修『熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営』

活動報告

9月28日より、中南米10カ国の研修員を迎え、11月末までという長丁場の研修を行いました。中南米はスペイン語圏。英語が話せる研修員は約3割と不安もありましたが、逆に研修員全員が先生となって私にスペイン語を教えてくださいました。皆とても仲が良く笑顔が絶えない日々でした。好奇心旺盛な人達で、何事

にも積極的に参加しチャレンジするといった姿勢でした。研修前半は、石垣島・西表島・東村・伊是名島での実習も行いました。トレッキング・カヤッキング・シュノーケリング・キャニオニングといった自然を有効に使ったプログラムを体験しました。中には初めて海に入る人もいて、西表島の海に感動していま

した。東村では、民泊体験を行いました。通訳がない言葉が通じない環境で一晩だけの交流でしたが、受入先の農家の方と互いに泣きながらのお別れとなりました。信じられない珍事もありました(事件その1：アルゼンチン研修員の靴を啜ったネコが森へ逃走)。研修後半の東京・群馬研修やJICA国際協力・交流フェスティバルも積極的に取り組んでいました。研修員全員、大きなケガもなく元気に閉講式を迎えることができたことを嬉しく思います、引き続きメールなどでサポートしていきます。

(研究員：末長昭光)



西表島にて、キャニオニング体験プログラム



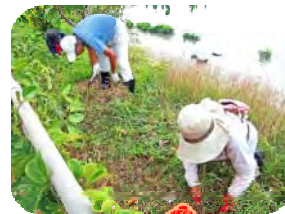
東村民泊体験後のお別れのとき

【地域活動】

- ①サガリバナ鑑賞会
  - ◆国場集落 (7月3日) ◆首里崎山町馬場通り (7月4日、5日)
  - ◆末吉公園 (7月11日、12日) ※台風接近のため、両日中止
- ②国場川ワークショップ・水辺の緑化ボランティア活動 (7月～12月)
- ③夏休み体験教室 2015 (8月)
  - ◆サンゴ礁生き物観察会 ◆カラフルうちわ作り ◆エコマップ作り体験
- ④イベント出展
  - ◆宮古島市立エコ学園 (11月3日) ◆第21回国場川水あしび (11月7日)
  - ◆JICA 国際協力・交流フェスティバル (11月7日・8日)
  - ◆アジェンダ21 県民環境フェア (11月22日)
- ⑤第2回なのはエコガイド養成講座 (11月3日～12月6日) ※全16回
- ⑥那覇市環境啓発事業
  - ◆主催事業：3件 (「沖縄の杜で生き物探し」など)
  - ◆出前講座：18件 (星空観望、海岸観察、ネイチャーゲームなど)



サガリバナ鑑賞会 (首里崎山町馬場通り)



水辺の緑化ボランティア活動 (サガリバナ周辺のお手入れ)



島嶼部を活用した持続可能な観光開発 (マンゴー加工品の製造過程を見学)

【国際協力】

- ①JICA 沖縄国際センター 受託事業 研修員受入事業
  - ◆課題別研修「島嶼部を活用した持続可能な観光開発」(7月6日～8月21日)
  - ◆課題別研修「熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営」(9月28日～11月27日)

活動予定 (2016年1月～6月)

活動予定

【地域活動】

- ◆国場川ワークショップ (1月・3月) ◆水辺の緑化ボランティア活動 (2月・4月・5月・6月)
- ◆那覇市環境啓発事業：主催事業「街中のマングローブ探検とマングローブクラフト工作」(1月17日)
- ◆第1回おきなわ水環境セミナー (2月3日) ◆自然体験～自然であそぼ!～・会員懇親会 (2月予定)

【国際協力】

- JICA 沖縄国際センター 受託事業
  - ◆研修員受入事業 課題別研修「島嶼水環境の保全と管理」(1月12日～3月4日)
  - ◆草の根技術協力事業 南東スラウェシ州ワカトビ県における地域に根差した環境保全型観光開発の推進 (4月～)

観察会・出前講座・CSR活動を随時やっています。気軽に連絡して下さい♪

お知らせ

～那覇で気軽に自然体験～

(株)OEC企画・おきなわ環境クラブ 共同企画

## 街なかマングローブ探検ツアー

※事前予約が必要です  
詳細はホームページで。

OEC企画 検索

那覇の街なかにはありながら、豊かな自然や歴史をもつ干潟「漫湖」。専門ガイドと一緒に干潟やその周辺の生き物・歴史に出会うツアー(仮)出かけましょう!

グループ旅行や修学旅行などの対応も行ってあります。お気軽にご相談ください。



開催日：火～日曜日(月曜休)

・コース&料金

- ①30分コース (高校生以上：1,000円、小・中学生：500円)
- ②45分コース (高校生以上：1,500円、小・中学生：1,000円)
- ③70分コース (高校生以上：2,000円、小・中学生：1,500円)
- \*小学生未満のお子さんは無料です(保護者同伴)
- \*開始時間はご相談によって決まります(9:00～15:30)

・場 所：漫湖水鳥・湿地センター木道 & 国場川南岸の遊歩道

(漫湖はラムサール条約登録地です)

会員・ボランティア募集

地域の方々が、水辺環境に親しんでいただく事を目的に、漫湖公園の河岸で緑化活動を行っています。今年度継続的に参加して下さるボランティアを募集します。お気軽に電話やメールでご連絡下さい。

会員申込みはホームページからお願いいたします。



2016年2月3日(水)

『第1回おきなわ水環境セミナー』

を開催いたします。

特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ

自然と環境の保全は足元から!

〒902-0075 沖縄県那覇市国場370番地307号室

TEL:098-833-9493 FAX:098-833-9473

e-mail : kokuba@npo-oec.com

HP : http://www.npo-oec.com

f : www.facebook.com/OkEnv

